

# 愛の便り

校訓: 志が人生を創る

## 秋の日はつるべ落とし

すっかり、いやようやく秋めいてきました。というのは、日没の時刻が夏から秋にかけて日増しに早くなっていくからでしょう。今月の1か月だけでもその差は約40分あるそうです。1年の中で比較すれば、一番遅い6月の日没時刻と一番早い12月初旬とを比べれば、その差は2時間半以上もあります。日照時間が長かった夏より、秋へと移ろいゆくこの時期の変化が大きいため、余計に早く感じるのかもしれませんが。

今週末から11月に入ります。部活動も冬時間となり、下校時刻は6時になります。子どもたちには引き続き「なるべく集団で、まっすぐかつ急いで帰路につくように」等の注意を促しています。保護者の皆さまにおかれては、夕暮れ時の運転に気を付けてください。



さて、明日はいよいよ合唱コンクールです。直前に控えた先週から各学級の練習にも一段と力が入ってきました。仕上がり具合も順調のようです。「歌わされている」「しかたなく歌っている」「とりあえず大きな声を出す」では、合唱とは言えません。曲想をしっかりと理解し、思いを届けたい、伝えたいというピュアな気持ちを歌声に込めてほしいものです。ご来場をお待ちしています。お弁当も忘れずにお願います。

また、駅伝の県大会まで10日余りとなりました。部員一同声を掛け合いながら、毎朝毎夕自分のペースを体にしみ込ませるためにひたすら走り込んでいます。本番での活躍が楽しみです。

さらに先に目をやれば、2週間とちょっとで期末テストが待っています。テストに向けた計画はもう立てましたか。早く計画を立てれば、その分行動も早くなるはず。もっと早くから始めればよかった」「計画通りにいかなかった」等々の反省を今まで受けてきたテストのたびにしていませんか。毎回同じ反省であれば進歩はありませんし、今回もそんな反省で終わっては何の意味もありません。その反省から何を学び、次にどう改善を加えたか。反省を生かしてこそ反省です。

1年生にとっては今回で4回目の定期テスト。もちろん、これよりはるかに多くの受験経験がある2、3年生であっても、油断や甘え、妥協や手を抜くといった落とし穴に陥らないようにしましょう。これらを乗り越える強い意志が何より大切です。昨日の集会でも子どもたちに確認しました。「逆算力は鍛えていますか。」一番わかりやすい逆算力の発揮どころです。毎日コツコツと頑張りましょう。これが「積小為大」です。

## 本校生徒の活躍が続いています。

★全国中学生都道府県対抗野球大会(11/2~11/4、静岡県)に館流星さん(3年)が長崎県選抜選手として参加します。吉報を待ちましょう。



## 雲仙市立愛野中学校 学校便り

令和6年10月29日

第101号(通巻)

文責(校長;末永栄喜)



各部活動でも新人大会の時期を迎えています。一昨日の27日(日)には、柔道の県新人大会が行われ、団体戦は善戦しましたが惜しくもベスト8止まり。しかし、個人戦では3人が入賞しました。

◆女子個人48kg級 優勝 南 楓花(1年)

※ジュニアスポーツ推進事業(県中体連主催)派遣選手としての参加資格を得ました。(11月23、24日に由布市で行われる大会に出場します。)

◆ // 44kg級 第3位 永野 栞奈(1年)

◆男子個人55kg級 第3位 佐藤 尋太(2年)

その他にも、

◆第8回諫早市少年剣道錬成大会(10月14日)

◆第36回NTT杯西日本旗争奪少年少女剣道大会(20日)

どちらも男子団体 準優勝

◆第42回島原ジュニア陸上競技大会

○女子中学生共通3000m 第2位 岩岡 紗希(2年)

○ // 1年1500m 第3位 松本 さえ(1年)

○男子中学生共通400m 第3位 宮崎 扇吏(2年)

また、第97号でも紹介した第23回全国障害者スポーツ大会の卓球競技(知的少年男子;区分18)に高橋由汰さん(2年)が出場し、本日報告を兼ねて校長室を訪れてくれました。ちょうど私の手元に「長崎県障害者スポーツ協会便り」が届いており、その中に「せっかく選ばれたチャンスだし、チームの方、関係者の方の助けを借りながら、力強くチャレンジしようと自分で決めました。」とその意気込みが綴られていました。先日の新聞にも掲載されていましたが、リーグ戦1勝1敗で初めての大会で見事銀メダルを獲得。今日の報告では、初めての大きな大会で緊張はあったものの、その言葉通りのパフォーマンスが発揮できたようでした。努力を重ねて日本を代表する選手になってほしいですね。

## International Day in Unzen 開催(2年生)

市教育委員会と市内ALTの企画・運営による初めてのイベントとして、先週の水曜日に行われました。目的は、

◇授業で身に付けた語彙や表現を使用する機会の提供

◇成功体験の実感と英語学習への意欲向上

◇ALTとの交流を通じた異文化の理解 です。

たっぷり2時間、体育館での学習でしたが使用する言語は英語のみ。修学旅行で訪れたKGG(体験型英語施設)でもそのコミュニケーション能力を発揮していた2年生にとっては、もってこいのタイミングと環境でした。みんな満面の笑顔で楽しく参加している姿が印象的でした。欲を言えば、英語の成績も上向きになれば言うことなしですね。

